



■シビックコア地区整備事業

筑西しもだて合同庁舎が業務開始

下館駅北の中央地区市街地再開発事業にあわせて進めていた『シビックコア地区整備事業』で、地区整備の核となる国の施設『筑西しもだて合同庁舎』が完成。10月、同庁舎に移転した下館税務署、水戸地方法務局筑西出張所（旧結城出張所と統合）、下館区検察庁、関東農政局茨城農政事務所筑西統計情報センターが、それぞれ業務を開始しました。

都市の拠点『シビックコア地区』

平成8年、旧下館市は『シビックコア地区整備制度』に基づき、国と共同でシビックコア地区整備の検討を開始しました。『シビックコア地区整備制度』とは、地域の特色や創意工夫をいかしたまちづくりを支援するために国が設けた制度で、行政サービスの拠点となる官公庁施設と民間の建築物などの整備を一体的に進めることにより、地域の顔となる、魅力と賑わいある都市拠点『シビックコア地区』を形成するものです。市は下館駅北の中央地区市街地再開発事業にあわせて、シビックコア地区を①文化・交流の場、②広域的行政サービスの場、③都市生活のオアシス、とすることを基本理念に『シビックコア地区整備計画』を取りまとめ、平成14年に国の承認を得ました。

約2.4ヘクタールを一体的に整備

シビックコア地区は、下館駅から駅前通りを北に約500メートルのところに位置し、面積は約2.4ヘクタール。地区の西側に緑豊かな丘が残り、筑西が誇る祇園祭りの拠点・羽黒神社があります。

平成15年には、駅前通りの西側に中央地区再開発事業として『アルテリオ』が完成しました。1階には祇園祭りの神輿を展示。地域交流と文化活動の中心である『しもだて地域交流センター』、『しもだて美術館』などが、さまざまな事業を展開しています。

またシビックコア地区整備事業に関連する都市整備事業として、周辺道路整備などの街路事業や、筑西ゆかりの洋画家・青木繁の作品を陶板で再現するストリートファニチャー整備などを行っています。

合同庁舎に国の機関を集約

シビックコア地区の中心となる『筑西しもだて合同庁舎』は、国の費用で建設されました。地上5階、地下1階建てで、延べ床面積は約4,700㎡。市内各地に分散し、老朽化が進んでいた国の機関を集約・立体化することによって、より便利で機能的な環境に生まれ変わりました。建設にあたっては利用しやすい施設を目指し、幅広い意見を聞く場として、市民団体などが参加する『サインワークショップ』を開催。庁舎案内や身体障害者用駐車場の表示に反映させました。また、バリアフリー導入や障害者用駐車場設置など、すべての人が円滑に利用できるように配慮しています。

▼下館税務署

…納税者の相談に応じたり、国税の賦課や徴収などの仕事を行っています。

TEL 24-2121

▼水戸地方事務局筑西出張所

…登記についての業務を行っています。関城・明野地区の土地家屋登記事務は従来どおり下妻支局で行います。

TEL 22-3495

▼下館区検察庁

…簡易裁判所に対応する検察庁として

業務を行っています。

TEL 22-2730

▼関東農政局茨城農政事務所 筑西統計情報センター

…農林水産分野の実態把握や情報提供などの業務を行っています。

TEL 49-8380

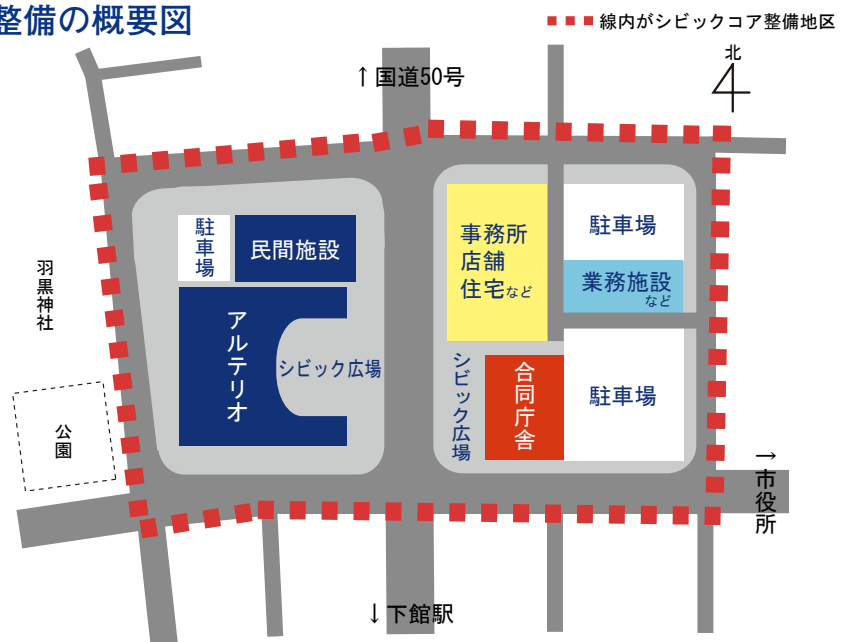
5階	筑西統計情報センター 下館区検察庁
4階	水戸地方事務局筑西出張所
3階	会議室
2階	下館税務署
1階	下館税務署 エントランスホール
地下1階	機械室

憩いの空間『シビック広場』

市民の安らぎの場でもあるシビックコア地区。すでに完成しているアルテリオ前の広場は、まちかどコンサートやフリーマーケットなどが行われるわっしょい市、夏の盆踊りの会場として親しまれています。またこのたび、駅前通りを挟みアルテリオ前広場に対する合同庁舎前にも、交流と憩いのための広場公園を設けました。市は、この2つの広場の一体的な名称を広く募集。50点の応募があり、審査の結果、『シビック広場』に決定しました。入賞者は、11月18日に開催するシビックコア地区整備事業完成式で表彰する予定です。

シビックコア地区整備事業の問い合わせは 市都市整備課 TEL 20-1182

地区整備の概要図



シビックコア地区整備事業に関する都市整備事業

- ◇都市計画道路3・4・1 稲荷町線街路事業
- ◇都市計画道路3・5・9 中島富士見町線街路事業
- ◇都市計画道路3・4・3 中島西榎生線街路事業
- ◇街区道路整備事業
- ◇ポケットパーク整備事業
- ◇市街地サイン設置事業
- ◇地区施設整備事業（広場公園整備）
- ◇ストリートファニチャー整備事業（名画陶板設置）
- ◇修景施設整備助成補助事業（歩道セットバック舗装助成）
- ◇修景施設整備助成補助事業（デザイン看板助成）





筑西市総合計画の策定を進めています

市は現在、今後10年間のまちづくりの方向を定める『筑西市総合計画』の策定作業を行っています。策定にあたっては、市民の意見を反映した計画となるよう、さまざまな方法で市民の声を聞きながら作業を進めています。 ■問い合わせ 市企画課 Tel内線 484

市民アンケート調査

▶ 昨年11月、まちづくりについての市民意識を把握するため、郵送によるアンケート調査を実施しました。(市内に住む20歳以上の男女から2,000人を無作為抽出)

市民まちづくり会議

▶ 今年2月から約半年、公募などにより選ばれた市民100人が、5つの部会（健康福祉・都市環境・教育文化・産業観光・住民自治）に分かれ、まちづくりの方向性について協議。8月には、市長に提言書を提出しました。

市民地域づくり会議

▶ 今年2月から約半年、地域の代表140人が中学校区ごとの7つの部会（下館・下館西・下館南・下館北・関城・明野・協和）に分かれ、地域づくりの方向性について協議。8月には、市長に提言書を提出しました。

各種団体による提案

▶ 今年2月、市内の各地区・各分野で活動している市民団体や公的団体などに対して、団体活動の視点からの意見・提案を募集。78団体から提案書の提出を受けました。

住民懇談会

▶ 今年の9月から10月にかけて、広く市民の意見を聞くために、しもだて地域交流センター・関城生涯学習センター・明野いきがいセンター・協和公民館の各会場で住民懇談会を開催しました。

筑西市総合計画とは

総合計画は、市の将来を見通した総合的で計画的な行政運営を図るための基本方針となるもので、市の最上位計画です。この計画は、10年後の市の将来像を明らかにし、その実現のための施策の大綱を定める『基本構想』と、それを実現するための主要な施策を部門別に示す『基本計画』から構成されます。

■総合計画は今後、次のスケジュールで進めていきます。

市民の意見を反映した計画案を作成

▼ 市長が、学識経験者などで組織する総合振興審議会に諮問

▼ 総合振興審議会が調査審議し、市長に答申書を提出

▼ 市長が、市議会に計画案を上程

▼ 議会による議決により、総合計画決定



Vol.4
市民と市役所が連携して行動する
協働のまち筑西市を築きます

市が行政改革を進める中で、市民へのサービス低下を懸念している人は多いと思います。しかし筑西市は、市民福祉実現と財政健全化を両立させた行政改革を、協働のまちづくりを推進することで達成させようと努めています。

限られた財源を効率的に使い
安定したサービスの提供を図る

市の財政は、今、非常に厳しい状態にあり、今後も、すぐに好転するとは考えられません。市はこれまで、財政健全化のため、集中改革プランに基づき、事業の見直しや平成21年度までの職員数10%削減などの改革を進めています。行政改革は、限られた財源の中で、将

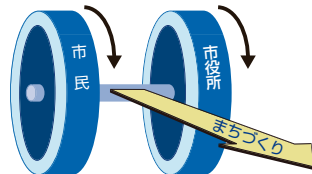
来の市民福祉が低下しないよう、公共のサービスを従前とは違う方法で提供できないかなど、市の仕事をゼロから見直し、やり方を変えていくことです。

市の財政が厳しさを増す中、公共は行政だけが考え、役割を担うものではなくなっています。市民と市役所が一体となり担う公共の範囲が広がっています。そこで市は、過去の方法にとらわれな

車の両輪となり協力して進める
協働によるまちづくり

サービス提供が可能となる体制を作るため、協働によるまちづくりを進めます。協働によるまちづくりとは、市民に負担を求めただけではありません。市民と市役所が、公共の利益のために協力して働くことです。市民と市役所がいわば車の両輪となり互いの役割を果たしながら進めるのが協働によるまちづくりです。

協働によるまちづくりを市民の理解を得ながら進めるため、市は、情報公開を徹底し、説明責任を十分に果たします。さらに、職員が積極的に地域に入り、市民の納得が得られるよう努めます。



行政改革による経費(人件費など)の削減

力強い筑西市づくりを目指して進めている、行政改革。市が行った経費削減などの実績と今後の計画をお知らせします。

- 人件費削減実績
 - ・昇給制度の改革による削減額 約3億円
 - ・退職者の不補充による削減額 約1億6千万円
- 職員数の削減計画(平成17年度基準)
 - ・平成21年度までに約120人、26年度までに約300人削減
- 事務事業の再編・整理計画(平成17年度～21年度)
 - ・廃止完了 19事業・統合 24事業・その他 36事業

『知事と語ろう明日の茨城』を開催



10月23日、市コミュニティプラザで『知事と語ろう明日の茨城』が開催されました。県西地域の住民約120人が参加し、より良い茨城づくりのため、橋本昌知事と活発な意見交換を行いました。

安全・安心まちづくりを目指して講演会

10月4日、市コミュニティプラザで、筑西地区防犯協会と筑西警察署が、筑西市安全・安心まちづくり講演会を開催。県警察本部安全安心まちづくり推進室長の永塚勉警視による講演や、市内で防犯活動を実践する野殿SP、小栗子どもを守る会、川島防犯分会の事例発表を行いました。

わくわくスポーツ大会で交流と健康づくり

10月4日、下館運動公園で、茨城県健康福祉祭わくわくスポーツ県西A地区大会を開催。県西地区の6市1町から参加した約600人のお年寄りが、ゲートボールや輪投げなどを行いました。

上羽黒神社本殿・拝殿の屋根などを修理

県と市による補助を受け、上羽黒神社(岡芹)が本殿と拝殿の屋根などを修理しました。同神社の本殿と拝殿は江戸時代初期の建造と考えられ、ともに県指定の文化財となっています。

宝くじ収益を地域コミュニティに



平成18年度自治宝くじ助成事業の援助を受け、桜塚集落が子供用神輿を整備。これは、財団法人自治総合センターが、地域コミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報のため、宝くじの受託事業収入を財源に助成しているものです。